

# 個人戦運営規程

2021.4.4 改定

- 1 本規程を適用する大会とその種目・ランク構成
  - ① 春季大会 : 男女ダブルス各1部～5部
  - ② 秋季大会1 : 男子ダブルス1部～5部、女子シングルス1部～4部
  - ③ 秋季大会2 : 男子シングルス1部～5部、女子ダブルス1部～5部
  - ④ ミックス大会 : 混合ダブルス1部～10部注) 申込み状況によりランクの吸収合併抹消することがある。秋季大会1, 2は逆になることがある。大会ごとに1会場で開催することとする。
- 2 ポイント  
原則として21点3ゲーム、延長は2点リード30点までとし、運営の都合によって短縮可能とする。
- 3 予選  
リーグ戦とする。ブロック内を4組(人)と3組(人)のどちらを優先するかは、全参加数によって決める。
- 4 決勝
  - (1) トーナメント戦または入賞順位決定戦とする。
  - (2) 予選各ブロックからトーナメント戦進出する組数は、全参加数によって1つ又は2つに決める。
  - (3) 組み合わせは予選4ペアブロック1位をシード位置に配置することを原則とする。
  - (4) 予選ブロックから2つ決勝トーナメントに進出する場合は、まずブロック1位を優先してシード位置に配置し、残りの位置に2位を配置する。その際予選同ブロックの対戦を避けるよう配慮する。
  - (5) 配置は抽選とするが、全ブロック終了を待たずに順次抽選することも認める。
  - (6) 3位決定戦は行わない。ただし第5項に関連して行うこともある。
- 5 表彰
  - (1) 3位までを原則とし、各ランクごとに当日参加者の半数を限度とする。
  - (2) 賞状の発行については、優勝・準優勝までとする。
- 6 ランクのUP・DOWN (65歳以上の選手には適用しない。以下、年齢起算日は4月1日)
  - (1) 強制UPの原則  
1位2位の選手は、パートナーにかかわらず、次の同種目大会だけは上位ランクに申し込むものとする。  
<例外1> 1ブロックしかない時は、1位選手のみとする。  
ただし最下部の場合は同一ペアの場合のみとする。  
<例外2> 2ブロック以上の場合、決勝Tで0勝は除外する。  
<例外3> 単複2位については次のように年齢特権を認める。( )は混の場合。
    - ・2部(4部)以上で2位の選手: 50歳以上は、元ランクに申し込み可
    - ・3部(6部)以上で2位の選手: 55歳以上は、元ランクに申し込み可
    - ・4部(8部)以上で2位の選手: 60歳以上は、元ランクに申し込み可
  - (2) DOWN不可の原則
    - (ア) 1勝以上の選手同士のペアはランクDOWNできない。
    - (イ) 予選ブロックで敗退した場合は、次の同種目の大会においては、同一ペアでのラ

ランクDOWNは1個ランクまでとする。

- (3) 上位ランクに吸収合併されて消滅されたランクに申し込んだ選手については、次大会の申し込みランクに制限をつけず、必要に応じて競技委員会（組み合わせ会議）にて善処する。

#### 7 シングルスランクとダブルスランクの関連性

- (1) 男子は概ね同等とする。
- (2) 女子は、シングルス4部をダブルス4部5部相当とし、他は概ね同等とする。
- (3) 混合ダブルスのランクは、男子ダブルスランク+女子ダブルスランクの数値、またはその数値から1を引いた値を基本とする。

#### 8 第2体育館の使用割り振り

- (1) 基本的に1部（混合の場合は1部2部）は除き、残りの部を順番に割り振る。
- (2) 国府台第2体育館の場合は、シングルスは除く。

#### 9 予選ブロックの組み合わせ〔Jシステムによる自動組み合わせ+担当役員（理事長および競技委員会を構成する理事・副理事）によるチェック〕

- ① 追加，変更は大会日-10の日付をもって締め切る。
- ② 申込みランクの妥当性をチェックする。
- ③ 前回同種目大会における入賞者またはそれに準ずる選手の上位から、シードを決める。（形式シード）
- ④ 今回申込者の中から、実力的に上位と思われる選手を選び、シードとする。なお担当役員は、直近の県総合選手権，全日本社会人県予選，国体予選の各種目ベスト4選手を把握する。（実力シード）
- ⑤ 形式シードと実力シードをあわせて実力を査定し、総合シード順位をつける。その個数は、ブロックの個数と同数～その2倍までとする。

・・・ここまでは担当役員による審議。このあとはJシステムによって自動的に組合せが作成される。

- ⑥ 総合シード上位を4ペアブロックに配置しながら、シードを分ける。
- ⑦ 同一クラブ選手を分ける。
- ⑧ 前回同種目大会において同ブロックで対戦した選手を分ける。
- ⑨ ブロック間に強弱の偏りがないようにする。
- ⑩ ブロック名(ABC・・・)は3ペアブロックを先にする。

・・・最後に担当役員によるチェックをして決定する。

#### 10 棄権、オープンの扱い

- (1) 単複にかかわらず、全試合棄権はプログラムから抹消する。
- (2) 途中棄権は以後のラリー，試合は自らの得点を0とし、全て対戦相手の得点として処理する。
- (3) ダブルスでパートナーが棄権の場合、代理を立ててオープン参加できる。
- (4) 代理選手は同性の者とし、他に条件は無い。